

斜頸 発症から3ヶ月の経過

日付	なののはちの状態	受診内容	抗生物質/抗菌剤	ステロイド	駆虫薬	鎮静剤	ビタミン類	胃腸薬	外用薬
2007/1/15	夜に突然ローリング・眼振が始まる。	夜間の病院で診察	バイトリル	プレドニゾン					
2007/1/16	一旦症状は安定。	かかりつけ医受診。X線検査。							
2007/1/17	首が少し傾く。食欲なし。	血液検査(Ez)、点滴と、薬投与。サルファ剤スルファミトキサゾール(バクトラミン)。合成抗菌薬	バクトラミン				アリチア	プリンペラン	
2007/1/18	フルーツ、牧草、野菜は食べた。 左目濁りが減った。								
2007/1/19	首の傾きは少しあるが、部屋の散歩で走る。								
2007/1/24	首の傾きがひどい。	ステロイド剤、バナキュア処方。血液検査結果は80倍。	バクトラミン	プレドニゾン	バナキュア		アリチア		
2007/1/25	首の傾きさらに悪化。								
2007/1/29	首の傾きがさらに悪化、一時は立てなくなる。 深夜に少し回復。		バクトラミン	プレドニゾン	バナキュア		アリチア		
2007/1/30	再び立てなくなる。 次の日の朝、立たせてあげるとなんとか立った。					フェノバール			
2007/1/31		鎮静剤(フェノバール)スタート。							点眼薬
2007/2/1	首の傾きが悪化。 すぐに転倒、起き上がるのに時間がかかる。								
2007/2/5	90度以上の傾きでほぼ頭をつけて寝る状態。	バイトリルを再び。ステロイドは停止。	バクトラミン バイトリル		バナキュア	フェノバール	アリチア		点眼薬
2007/2/17		血液検査(Ez) 再検査							
2007/2/19	床をフリスにしたことで、ソアホック悪化。プラス チェックすのこに戻した。 ローリングが激しいので、転倒時の怪我防止のため ケージ側面をフリスにした。	フェノバールストップ。							
2007/2/25	首の傾きは変わらず。左耳の汚れがひどくなった。	耳が汚れていたので耳そうじ。 血液検査結果は前回同様80倍。Ez用の薬は中止。 クロラムフェニコールに切り替え、それと併用できない バイトリルは中止。 点耳薬・点眼薬を開始。ソアホック用に塗り薬。	バクトラミン、 クロロマイセチンパ ルミテート				アリチア		点耳薬 点眼薬 塗り薬
2007/3/21	首の傾きがひどく、散歩で外に出しても立てない。	耳の汚れはないので点耳薬は中止。							
2007/3/24	首の傾き改善なし。	再びステロイドを少量加える。	バクトラミン、 クロロマイセチンパ ルミテート	プレドニゾン			アリチア		点眼薬
2007/4/3	食欲が出てきたので強制給餌は中止。 少し散歩ができるようになった。首はかなり傾いたま ま。								
2007/4/20	夜の散歩は継続。首の傾きが良くなってきた。 ソアホックが少し悪化。	ステロイドの量を2週間前より減らす。							

使用した薬の詳細

抗菌剤	バイトリル(エンフロキサシン)
抗菌剤	バクトラミン(サルファメトキサゾール+トリメプリーム)
抗生物質	クロロマイセチンパルミテート(クロラムフェニコール)
駆虫薬	バナキュア(フェンベンダゾール)
ビタミン剤	アリチア(VB1、B6、B12)
点耳薬	クロラムフェニコール
点眼薬	タリビット
塗り薬	アイブクリーム

* 抗生物質と抗菌剤の違い

抗生物質は、「微生物が自分で作り出す物質のうち、他の微生物の発育を阻害する化学物質」と定義されています。今日ではその化学物質の一部に化学変換を施したもので定義に含められています。最近の合成技術の発達により、抗生物質のように抗菌力を持った化合物を人工的に合成することが可能となりました。これらは微生物が作り出す物質という定義から外れるために、「抗菌剤」と呼ばれて区別しています。

* 駆虫薬 バナキュア(フェンベンダゾール)

エンセファリトゾーンの疑いがあったために処方されました。斜頸の治療ではなく、原虫の一種であるエンセファリトゾーンを駆除するための薬です。